

令和元年度 第1回 根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 令和元年7月9日（火）午後6時30分～午後7時40分

2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 10名

【市側】 5名

市長（挨拶後退席）、総務課長、総務主査
広報広聴主査、広報広聴担当

4. 会議概要 1回目の会議となった今回は、テーマである「根室市役所本庁舎整備」について、今後「建替え」「耐震補強・大規模改修」どちらの方向性で議論するのかを決定することとした。

事務局から現状や課題、市民アンケートの結果などについて説明したのち、意見交換を行い、今年度の市政モニター会議は、根室市役所本庁舎を「建替え」により整備すべきと判断した。

5. 会議詳細

（1）開会挨拶（市長）

本日は、令和元年度、第1回市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、市政の推進に対しまして、格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに対し、心より感謝申し上げます。

この会議は、市政に対し、広く市民皆様のご意見やご提言をいただくため、毎年開催しているもので、本年度は14名の方々を市政モニターとして委嘱させていただきました。今年度末までの委嘱期間内、数回の市政モニター会議の開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、今回の市政モニター会議は、「根室市役所本庁舎の整備」をテーマとして設定させていただきました。この市役所本庁舎は昭和48年に建てられてから46年間が経過しております。

平成 21 年に実施した耐震診断では、震度 6 強程度の地震で倒壊の危険性があるとの結果となり、大きな地震が発生した場合には、来庁者の安全確保が難しく、災害時の拠点施設としての機能を果たせなくなることが懸念されています。また、建物や設備の老朽化やスペースの不足など様々な課題を抱えており、市としましても昨年度に市民アンケートを実施するなど、市役所本庁舎整備に向けた検討を始めたところであり、市政モニターの皆さんには、市民目線での市役所本庁舎のあり方について掘りさげた議論をいただくことをお願いするものであります。

本会議は、まちづくりの主役である市民の皆さんとの意見交換を目的としています。出された意見・提言等を反映させていただきながら、市役所本庁舎整備に取り組んでまいりたいと考えておりますので、モニターの皆様には、是非とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきますよう、お願い申し上げ、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 令和元年度「根室市市政モニター会議」の開催方法について（広報広聴主査）

※別紙 1 のとおり説明

(3) テーマ「根室市役所本庁舎整備」について現状・課題の説明（総務主査）

※別紙 2～4 から次の事項を説明

①別紙 2 アンケート報告書よりアンケートの結果、7割近くの市民が「建替え」が望ましいと回答していることについて

②別紙 3 基本事項整理報告書より現本庁舎の耐震性能が不足していることについて

③別紙 4 参考資料より「耐震改修」「建替え」それぞれ整備方法の比較について

(4) 以下、質疑応答・意見交換

○総務課長

庁舎整備にあたっては財源をはじめ、現実的に問題が多くあるのは市としても承知しているところである。皆さんのが心配される点もたくさんあると思うが、モニター会議としては、現実の問題にこだわらず大きな夢を描くように議論いただきたいと思っている。

また、会議を進めるにあたり、整備方法を「建替え」とするか「耐震補強」とするかで、議論の方向性が変わってくると考えられるので、整備方法についてモニター会議としての方針を決めていただくのが本日の趣旨としたい。

●モニター (A)

「建替え」、「耐震補強」のいずれの場合においても国等からの補助金はあるのか。

○総務主査

「建替え」については、ないことはないが、本庁舎のような行政機関は学校などと違い建設費に対する補助金が少ない。しかし、本庁舎に整備する機能によってはその機能ごとに補助金が設定されているものもあるので、今後、必要な機能を精査し、様々な補助金を活用できるよう検討する必要があると考えている。

●モニター (B)

財源の話になったが、市として見通しはあるのか。

○総務主査

現状、整備方法も定まっていないところであるが、将来を見据え5年間で10億円のお金を基金にためる計画はある。

●モニター (A)

ふるさと納税を活用できないのか。

○総務主査

本庁舎整備のために直接活用する予定はないが、市役所本庁舎は防災拠点としての機能であることから、ふるさと納税のうち防災対策として積み立てている基金を活用する計画はある。

●モニター (C)

仮に、耐震補強をしたところで、例えば10年先にまた建て直しをしなければならないのであれば、二重に経費がかかってしまうことになり、好ましくない。「建替え」が望ましいと考える。また、建替えるのではれば、バリアフリー化など誰でも気軽に利用できる場所であって欲しいし、災害時には避難場所になるような設計についていただきたい。

○総務主査

お話しにあったとおり、車いすの方の出入りがしづらい入り口や1階の窓口のプライバシー保護不足など、庁舎の利用しづらい部分についてはアンケートなどでも指摘されているところである。

●モニター (D)

アンケートの回答率が27.1%ということで、市民の関心の低さに驚いている。ほかの調査等の回答率はどれほどのか。

○総務主査

市民意識アンケートなども20~30%である。回答率の向上のためインターネットによる回答なども検討したが実施はしていない。

○総務課長

アンケートの方法として、関心の高い世代にターゲットを絞って行うことで高い回答率を得る方法もあるが、市が行うものとしては様々な世代の意見を聞くべきものが多く、無作為抽出により行うのが一般的である。

●モニター (E)

資料にある概算額は今の単価による算出かと思うが、5年、10年後にはどのくらい変動があるものなのか。

○総務主査

オリンピックや災害などにより資材、人件費が高騰することは考えられるが、具体的な数字を想定することは難しい。

●モニター (A)

仮に建替えるとして、現在以外の場所はどういった場所が考えられるのか。

○総務主査

今の市役所（駐車場合め）と同じ大きさとした場合、同程度の市有地はない。例えば、学校統廃合後の学校敷地跡を活用することも考えられるほか、新たな土地を購入する、あるいは既存の市有地に合わせた規模の市役所にするといったことも選択肢の一つになる。

●モニター (F)

耐震補強を行ったところで建替えるまでの間に補修などの経費がかかってしまうのであれば、やはり「建替え」の方向で考えるべきである。また、新庁舎の場所について市長に提言できるモニターミーティングになればと思っている。

また、提案として、ツインタワーのような2棟構造の庁舎にして1棟を振興局として道に貸し出すようなことができればいいのではと思う。

○総務主査

振興局として貸し出すという点については、札幌市内でも道庁と振興局を分けていふことから考えると、難しいと思われる。ただ、市側としては全く想えていなかったアイデアであり、こういった意見が市の行動を起こすきっかけとなるので、ぜひ、いろいろな提案をしていただきたい。

○総務課長

モニターミーティングの中では、できる・できないは関係なく様々な意見を言っていただき、提言書にまとめるように進めていきたい。ただ、その後の具体的な設計をする際に現実的に難しいものは省くということについてはご理解いただきたい。

●モニター（G）

アンケートなどを踏まえ「建替え」として進めるべきと考える。新庁舎には市役所としての機能だけではなく、展望台や「水産都市ねむろ」をPRできるスペースなど時代のニーズに合わせた機能を設けることができればいいと思う。

また、現在利用する中で、駐車場の狭さと出入りのしづらさが気になるので利用しやすいように整備していただきたい。

○総務主査

駐車場に関しては現庁舎の建設当時と現在の車の普及率を考えるとまさに時代のニーズにあっていないものであり、アンケートなどでも指摘されているところである。

●モニター（H）

私も「建替え」による整備に賛成で、展望台を設けるというアイデアはとてもいいと思う。納沙布にも展望塔があり、外観は古く老朽化も進んでいるが、観光客は利用していると聞く。新しく整備できればきっと観光客にも人気ができるだろう。

●モニター（I）

今の市役所は正直なところ入りやすい、利用しやすい場所ではないと思う。私は福祉に関わる仕事に携わっているのもあり、耐震の面のみでなく、福祉の面の機能強化と併せ「建替え」によって整備するべきと考える。

●モニター（J）

場所を移動しての「建替え」をすべきと考える。私の考えとしては、学校敷地跡に新庁舎を建設し、元のグラウンド部分に広い駐車場を作り、駐車場としてだけでなくイベントを開催できる場として、有事の際は避難所等として活用できるように整備するのがいいと思う。また、現庁舎の跡地は振興局の仮設庁舎のために貸し出し、振興局の建替えも行うというのが理想と考えている。

●モニター（B）

場所を移動して建替えた場合の跡地は朝市を行うなど観光スポットとして活用できればと思う。

●モニター（C）

跡地の話に付け加えると、高台となっており、港や街並みを見渡せる非常にいい立地になっているので、先ほどから話にあるように展望台を建設し、入場料をとるというのもいいのではと思う。

●モニター（D）

市役所の場所は警察署のように制約はあるのか。

○総務主査

制約はないかと思われるが、市民が足を運びやすい場所とするのが望ましい。

●モニター（J）

実際に庁舎を利用することとなる市役所職員の意見を聞くことはしないのか。

○総務主査

市役所を建替えたとした場合、未来に長く使用していくこととなる30歳以下の職員の声を聞く場を設けることを検討している。

○広報広聴主査

一通り皆さんのご質問、ご意見が出揃ったが、本庁舎に整備について市政モニターア会議の総意として「建替え」による整備をすべきということでよいか。

(モニター一同異議なし)

○広報広聴主査

では、次回以降のモニター会議は整備方法を「建替え」として進めていくこととする。

○総務課長

市長としては現時点では整備方法を示してはいないが、近々、整備方法の方向性を決意することになると思う。今後は「建設場所」や「必要な機能」などテーマを絞って意見を交わしていただきたいと考えており、事務局でテーマを整理してお示ししたい。

6. 閉会

7. その他

次回以降は、「建替え」により整備するという方向で、現在不足している機能から見える「新庁舎に求められる機能」や「新庁舎の建設場所」について議論していくものとする。